



荻原 謙一 議員

町長の公約の実現は

来年度の予算編成に生かせるか十分検討

問 町長選で掲げた公約をどう自己評価しているのか。

答 町長 企業誘致に力を入れてきたが、確定したのはエリアデザインのみのみでアマナ、ひらまつの誘致を成功させなければならぬ。

達成度は、国、県の動向に大きく左右され、公約を進めることが困難なこともある。

この3年間で実現したものは、まだわずかだと思っている。

問 達成できない公約について、予算編成方針にどう反映されているのか。

答 町長 現在の公約の進捗状況は、まだまだ極めて不十分なものという指摘のとおりなので、真摯に受け止め、来年度の予算編成に生かせるか、十分検討していきたい。

町の財政状況は

非常に厳しい状況が続くものと見込んでいる

問 町の財政状況と今後の見通しは。

答 企画財政課長 地方税や普通交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源の増加が見込めない中で、

人件費や扶助費、公債費などの義務的経費は増え続けており、経常収支比率の上昇に留意する必要がある。

また、投資的経費も役場庁舎整備関連事業や都市再生整備計画事業などの大型事業とともに、老朽化している施設改修など、多額の財源が必要となってくることや、今後の財政運営については、非常に厳しい状況が続くものと見込んでいる。

問 予算編成方針について。

答 企画財政課長 第5次御代田町長期振興計画の基本構想に基づいた取り組みと、町総合戦略に掲げた取り組みを推進する。

引き続き豊かな自然環境の町、子育てしやすい町、健康で安心して暮らせる町を柱に、住んでみたくなる魅力あるまちづくりを進めていく。

問 具体的重点施策と財源確保は。

答 企画財政課長 役場庁舎建設事業、新クリーンセンター整備事業、第2期都市再生整備計画事業などが重点的施策で、地域活性化事業、子育て支援事業や施設の長寿命化につながるための改修事業などを、実施計画に計上している。

各事業の財源は、国・県の予算及び経済の動向を把握して、町負担を最小とするよう、有効かつ適切な財源の選択をしていきたい。



企業誘致したエリアデザイン



古越 雄一郎 議員

農道の管理と修復対応の実情は 現地確認をして迅速に対応している

問 農道の修復対応の実態は。

答 産業経済課長 各区の皆様のご協力によって道路などの維持管理、修復対応を実施している。

小規模な維持補修または復旧工事は、現地を確認し、迅速に対応している。

農道拡幅などの大型事業の場合は、受益者負担の合意形成から、沿線利用者の十分な協議や調整が事前に必要だ。
建設水道課長 定期的に道路パトロールを実施して、簡単な作業であればすぐに直営で修復している。大がかりなものは、地元建設業者をお願いして対応している。

のは、地元建設業者をお願いして対応している。

事業費が大きくなる工事は、区長と相談し、複数年に分けて計画的に実施する。

問 各区からの要望に助成と即時対応を。

答 産業経済課長 春と秋に行われる道普請は、各区から事業計画書をいただき、材料支給と重機材などの借り上げにより実施している。

建設水道課長 道路沿いの樹木で、安全通行を妨げるものは、所有者に整備していただくよう文書などで依頼している。

荒廃した農道

問 農道利用者への安全運転指導は。

答 総務課長 年々交通事故は増加している。安全意識の向上を目的に警察署や安全協会と協力し実施している。

今後、より効果的な活動をしていきたい。

防災対策について

問 町の災害対応業務の実態は。

答 総務課長 各種の災害ごとに細かく規定を定めている。住民への周知手段は、

①防災行政無線②メール配信サービス③町のホームページ④西軽井沢ケーブルテレビ⑤FM軽井沢⑥携帯3社の緊急エリアメール⑦消防団による広報など、多様な手段により整備を進めている。

さらに防災対策として、火山防災マップ、融

成し、各区に配布した。説明会などを開催し、立ち上げを現在支援している。

現状、塩野、三ツ谷、広戸、平和台より結成届が提出され実施されている。これから、全区に広がるように進めている。

問 役に立つ防災マニュアルの作成を。

答 総務課長 各種の自然災害に際しての対策、対応家庭用マニュアルの作成は必要であると考えている。地域の特性を知っている地元と町が協同して効果的に進めたい。